

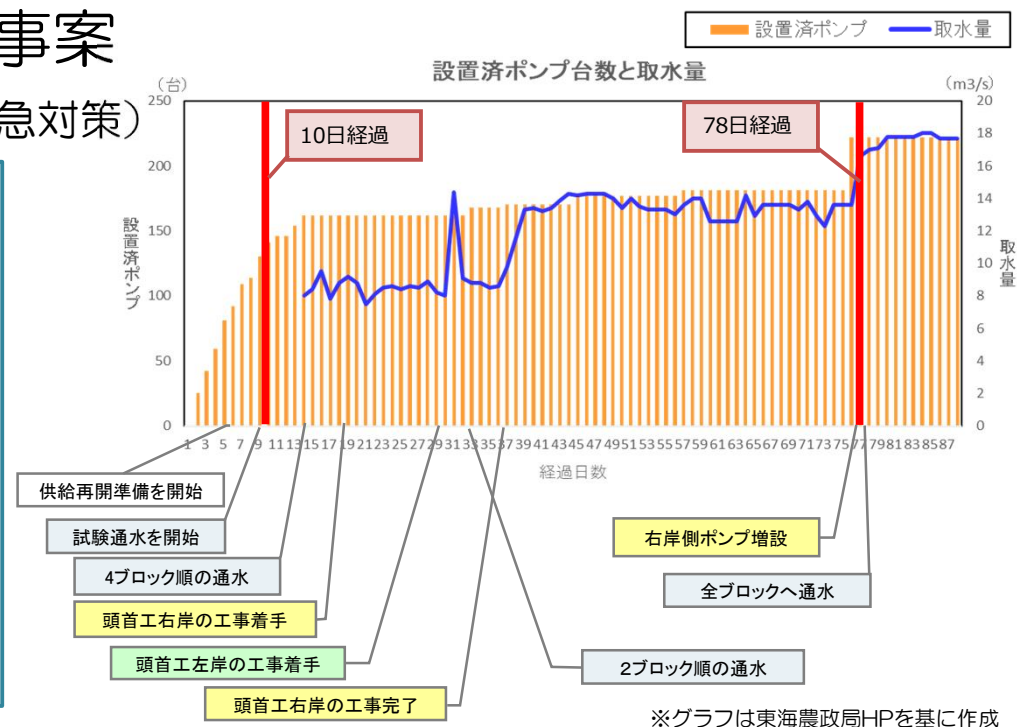
1. 事業概要

基礎資料P12

(7) 参考：取水が困難となった事案

(明治用水頭首工漏水事故における緊急・応急対策)

- 令和4年5月、明治用水頭首工において漏水事故が発生し、**農業用水及び工業用水の取水が停止**した。
- 農地へ用水を供給するかんがい期に発生したため、仮設ポンプを昼夜問わず設置・稼働させ、**通常取水量の約1/4を確保するまでに10日間を要した**。
- 営農者や施設管理者の協力を得ながら、**番水かんがいによる節水対応**を行いつつ、ポンプをさらに設置して増量を図り、**漏水発生から78日**を経て、ようやく節水対応が解消、全ブロックへの通水が可能となった。



仮設ポンプ設置状況 取水工 (5月29日時点)
(漏水発生(5月15日)から14日経過)



仮設ポンプ設置状況 右岸上流 (7月29日時点)
(漏水発生(5月15日)から75日経過)

1. 事業概要

基礎資料P13

(8) 参考：能登半島地震

- 令和6年1月1日、石川県能登地方において、M7.6、**最大震度7を観測する地震が発生**。多数の死者・負傷者をもたらすとともに、住宅の倒壊や道路に亀裂・陥没が生じるなど、**地域のライフラインに甚大な被害を及ぼした**。
- この地震により、**農地・農業用施設等に対しても大きな被害が確認され**、5月21日現在、石川県で農地1,511か所、農業用施設等4,938か所、防災重点ため池損傷276か所、農業用ダムの異常2か所が確認（農林水産省5月21日発表）されており、現在、災害復旧に向けた調査・計画立案が進められている。
- 突然の大規模地震による被害を未然に防ぐため、**農業用水利施設の耐震化対策は引き続き急務**であると言える。



復旧・復興に向けた北陸農政局の取組（直轄災害復旧事業）北陸農政局HPより



地震による継手の破損



土水路の法面崩壊